

◆ 研究分野	・基礎獣医学・基礎畜産学
◆ キーワード	・家畜の寄生虫病 ・胃腸内寄生虫 ・臨床診断
◆ 産業界での応用の可能性等	・畜産における寄生虫病の診断等に応用される
◆ 共同研究・受託研究可能なテーマ	・胃腸内寄生虫による家畜疾病の診断および疫学調査
◆ 利用可能な設備・機器等(共用機器も可)	・各種胃腸内寄生虫の検査器具・設備
◆ 関連の知的財産等	
◆ 所属学会	・日本獣医学会 ・日本寄生虫学会 ・国際獣医寄生虫学会 ・獣医寄生虫学会

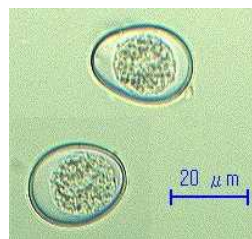
研究紹介（概要）

胃腸内寄生虫による家畜疾病の臨床診断法の改良

近年、コクシジウム原虫の感染による子牛または子豚の下痢症の発生が目立っている。牛のコクシジウム病では、重症牛は血便を排泄し、放置されれば死亡する。豚では、哺乳豚に感染するイソスポラが重要で、感染豚の死亡例は少ないものの、本原虫が多数寄生した哺乳豚は下痢を呈し発育が阻害される。また、蠕虫病では、牛や豚の鞭虫病や牛の乳頭糞線虫病が散発している。

これらの寄生虫病による畜産業への経済的損害は大きく、発症の予防対策が課題となっている。しかしながら、予防対策を検討するための基礎資料が十分でない場合が多い。この理由の一つとして、多忙な臨床現場では寄生虫病診断に費やす時間・費用がほとんど得られないことがある。本研究は、臨床現場で応用できる、より簡易かつ安価な家畜の寄生虫病診断法の開発を目的として取り組んでいる。

平健介（2011）牛コクシジウム病の検査法の一例と検査材料の長期保存。家畜診療，58，459-464。



牛のコクシジウム *Eimeria bovis* のオーシスト



豚鞭虫成虫

社会、産業界へのPR

家畜・家禽の胃腸内寄生虫による疾病の診断を行います。

職名	講師		
氏名	平 健介		
ローマ字	Taira Kensuke	学位	Ph.D.（獣医学博士）
所属学部等	獣医学部	所属学科等	獣医学科
所属研究室等	寄生虫学研究室	URL	http://www.azabu-u.ac.jp/department/veterinary/vet/lab/lab_12.html